

会議結果報告書

1. 会議名 令和4年度 第8回 印西市環境推進市民会議
2. 日時 令和5年2月17日(金) 9:30~11:30
3. 場所 市役所農業委員会会議室
4. 出席委員: 岩井会長、川井委員、小山委員、関根委員、橋本委員、平林委員、福井委員、山崎委員、吉村委員、渡辺委員

事務局: 環境保全課 海老原保全係長、清田主査補

5. 傍聴者 0名

6. 配布資料

・会議次第

7. 内容

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

①環境基本計画の推進について

会 長: 今日は環境カレンダーについて検討するという事で良いか。

委 員: 環境カレンダーについて検討するという事ではなく、グリーンインフラ、サステナブル、カーボンニュートラル3グループそれぞれがやりたいことを検討する時間としてほしい。

事務局: 環境カレンダーについてはサステナブルグループからの提案であり、掲載内容については、3グループで割り振りをし、後日検討するという事にはなっていた。グリーンインフラ、カーボンニュートラルのグループはカレンダー以外でそれぞれ検討している事項があれば、それについても話し合う時間としていただきたい。

会 長: 環境カレンダーは初めて行う取組である。どのような内容にするかは、3グループに分かれて、それぞれ専門的な内容をカレンダーにするということではなかったか。

委 員: 環境基本計画を実施するにあたり、3つの重点的な取組が示されており、それぞれの取組に関連した3グループに分かれたということであったのではないか。

委 員: 環境カレンダーについては、サステナブルグループからの提案で、12か月分を3グループで分け、1グループ4つのテーマの掲載内容を検討するという事にはなっていたが、それについては別途検討している。

委 員: 本来ならば環境カレンダーを提案したのはサステナブルグループであるため、内容はサステナブルグループが検討した方が良いと思うが、それぞれに専門的な内容もあるため、各グループで分担して内容は検討しようということになっていた。

事務局: 本日皆さんに配布した、カーボンニュートラルグループが作成した資料をご覧いただきたい。こちらの資料は2つの内容が掲載された資料となっており、1点目が環境カレンダーに関する内容、2点目がカーボンニュートラルグループ独自に検討した内容となっている。環境カレンダーの掲載内容について、また、各グループの検討内容について、それぞれを同時進行で検討していただいているというのが現在の状況である。

- また、環境カレンダーの作成については、デザイン作成を業者委託する形でサステナブルグループより提案があったが、業者委託し作成することが難しくなっている。
- 委員：環境カレンダーの内容については、サステナブルグループとの間で話し合っていたかどうかはできないか。
- 委員：環境カレンダーについては、全体の検討の結果を組み込めるということもあると思う。
- 12月の会議の際も、各グループで環境カレンダーに組み込める内容を検討してほしいということであったため、カーボンニュートラルのグループでは、環境カレンダーにどのような内容を組み込めるのか、メールでやり取りし、今回資料として作成した。環境推進市民会議としては、印西市の環境保全のために取り組んでいるため、現状は3つのテーマに分かれて検討はしているものの、それらを統合し、共有していくことが大切と考える。
- 委員：この会議では、環境カレンダーについて議論することが多くなっていたため、各グループの検討の時間も十分取って欲しいということではないか。
- 委員：カーボンニュートラルグループでは、検討すべき内容はメールでのやり取りで検討した上で、資料として作成し、今回その内容を発表させていただこうと考えていた。
- 委員：環境カレンダーについては、サステナブルグループが出していただいたものであるため、サステナブルグループで検討していただき、全体で検討する必要はないのではないかと。
- 委員：アイデアを各グループから出していただき、それらの取りまとめをサステナブルグループで行うということが良いか。
- 委員：現在グリーンインフラグループで検討している内容としては、印西市の自然を守るためのシステムを作りたいと考えている。時間のかかる大変な作業である。それを環境カレンダーに落とし込もうとすると、膨大な説明が必要となる。
- 委員：現在検討している内容をカレンダーにそのまま掲載することは難しいと思う。
- 委員：グリーンインフラグループでは、啓発に留まる内容ではなく、どのようにして印西市のグリーンインフラを守れるのかというシステムに関することを検討しているため、時間がかかるものである。
- 委員：例えば「グリーンインフラ」という言葉自体が聞きなれない市民も多くいると思われるため、そういった内容を環境カレンダーに掲載するのではどうか。
- 委員：環境カレンダーに掲載する内容については、別途提案させていただきたいとは考えている。
- 委員：この場で環境カレンダーについて検討するということはないということが良いか。
- 委員：先ほど、カーボンニュートラルのように簡単に検討できることではないというような趣旨の発言があったが、こちらも簡単ではないと考えている。短期的にやるべきこと、中長期的な視点で考えるべきことを分けて考え、アクションプランとしてまとめている。システム構築といった具体的な内容は、事前にきちんと考えた上で進めるべきと考えている。その内容を会議全体で検討した上で、この内容ならいけるということで初めて具体化できるものではないか。
- 委員：それはカーボンニュートラルグループのやり方であり、グリーンインフラグループでは別のやり方でやっている。

委員：環境推進市民会議として活動しているからには、それぞれに検討している事項は全体で共有すべきと考える。

委員：それを共有できる手段が環境カレンダーか。

委員：個々に検討すべき内容と環境カレンダーのように共通して検討する内容はメリハリをつける必要があると思うが、個々のテーマだけをやっても結果としては出ないのではないか。

会長：環境推進市民会議は3つの全てのテーマを全体としても考えなければならないと思う。あくまで3つのグループはそれぞれのテーマを中心となって考えるという形ではないか。

委員：グリーンインフラグループとしても、会議の場で、対面で話し合いたいという思いもあるため、環境カレンダーの全体としての話は半分、グループの話を半分という形で時間を区切ってはどうか。

会長：事務局から、今の状況について改めて説明願いたい。

事務局：今年度当初、環境基本計画に掲げる重点的な取組の3つの分野ごとにグループに分かれていただいたが、環境推進市民会議の役割にある、環境基本計画の推進、環境行動指針の推進等につながる取組をグループごとに検討していただくという趣旨のものであった。その中で、サステナブルグループより、「環境カレンダー」という具体的な内容が提案されたため、事務局としても、市民への環境行動の普及啓発につながる取組であると考え、予算がかかる内容でもあったことから、具体的に話が進んでいたという経緯があると考え。

会長：環境カレンダーを作成するのは、来年度になると考えているがいかがか。来年度予算は決まっているのか。

事務局：来年度予算で環境カレンダーをデザインから作成することについては難しくなっているため、別の方法で作成することを事務局として検討している。

会長：環境カレンダーは何部作製する予定であったのか。

事務局：印刷部数等の具体的な内容は今後詰めていくものとする。環境カレンダーの話がここまで具体的に進んできた理由としては、予算的なことも並行して考える必要があったことから、過去の会議において、市民会議全体として環境カレンダーを作成することについては、皆さまに了承いただいた経緯があると認識している。

会長：承知した。

事務局：これから各グループの検討時間とさせていただきたい。

—グループごとに検討、検討経過の発表—

委員：カーボンニュートラルグループは、ゼロカーボンシティを具体化するために、政府の方針などを踏まえて、印西市としてどのように対応していただけるのかなど議論した。検討したテーマに優先度をつけながら、具体化していき、市民への啓発などを進めていけたらと考えている。

委員：サステナブルグループは、環境カレンダーに取り上げるべき4項目について具体的に検討した。1点目がプラスチックごみ問題について、海洋プラスチックは取り上げられることが多いが、山林等へのポイ捨てについても意識して欲しいと考えた。2点目

は、食品ロスについてで、フードバンクの活用の周知。3点目は、田んぼの農業者の後継者問題について。4点目は、おむつのリサイクルについて、最近取り上げられることがあるため、調べてみたいと考えている。

委員：グリーンインフラグループは、印西市のグリーンインフラを活用するまちづくり条例を制定したいという内容である。国交省のグリーンインフラに関する支援制度の活用も並行して考えている。具体的には、印西市への進出企業の里山保全義務や、具体的に候補地を選定し、モデル的に保全地区を規定するなどを考えている。現在市域の休耕田を調査しており、最終的には、条例化に向けた提案を市に対して行いたいと考えている。

会長：全体として、ご意見ご質問等なければ、事務局へお返しする。

(4) その他

事務局：カーボンニュートラルグループより提案いただいた内容の説明をお願いします。

—カーボンニュートラルグループの説明—

委員：3Rについて触れられていたが、Renewableも重要性が増してきていると感じている。

委員：データセンターのエネルギー効率評価について、データセンターについては、ゼロカーボンを目指すデータセンターとしての何かがあるということか。

委員：熱効率などを定めて、温暖化防止に寄与するという国際的な基準がある。

—事務局より、現在の委員の任期と次期委員の募集について説明—

(5) 閉会

以上

令和4年度第8回印西市環境推進市民会議の会議録は事実と相違ないことを承認します。

令和5年3月17日

印西市環境推進市民会議 委員 吉村 仁

印西市環境推進市民会議 委員 渡辺 統之